

令和6年度 全国学力・学習状況調査
 小学校国語 指導改善のポイント

1 主な結果の概要

○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる関係の表し方についてよく理解できている。

△資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。

△漢字によっては、文の中で正しく使うことに課題がある。

2 課題のあった主な設問

【大問1二】

【オンライン交流の様子の一部】の話し方の工夫として適切なものを選ぶ。

【正答】 2
 【四街道市で多かった誤答】 1

【大問2三ア】

ア きょうぎの作戦を考えたりします。

【正答】 「競技」

【四街道市の解答類型】

○ 「競技」	36.7%
× 「技」の間違い	9.9%
× 「競」の間違い	17.9%
× 上記以外	18.9%
× 無解答	16.6%

(2) 和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言⑦のように話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。
- 2 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。
- 3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。
- 4 相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。

3 指導改善のポイント

- 聞き手が求めていることに応じて、集めた材料をどのように整理すればよいかを考える力を付けることが大切である。目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり、関係付けたりして伝え合う内容を検討する活動が効果的である。
- 聞き手にわかりやすく伝えられるようメモを整理したり、提示する資料を用意したりすること等事前に準備することを指導する他、伝え合う活動の中で、即興的に話し方を工夫する、資料を提示する等、自分の考えをよりよく伝えるための表現の工夫ができるよう、指導の充実が必要である。
- 学習指導のねらいの明確化と児童一人一人の学習状況に応じた指導が必要であり、一斉指導だけでなく、問題解決的な学習過程や学習形態等の工夫が必要である。
- 各学年に配当されている漢字について、その学年で身に付けることができるよう、国語科の学習だけでなく、各教科等の学習や日常生活の中でも、漢字のもつ意味を考えながら正しく使おうとする意識を高めたい。家庭学習における取組についても、検討が必要である。

1 主な結果の概要

○加法や減法の問題場面の数量の関係を捉え、□を用いた式に表すことができている。
○図形を構成する要素やそれらの位置関係に着目し、立方体の見取り図について理解することができている。

△具体的な数値が示されていない図形の体積を求める際、図形を構成する要素に着目しながら適切な情報を選び出し、活用することに課題がある。

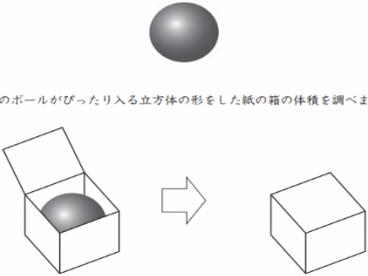
△道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。

2 課題のあった主な設問

【大問3 (3)】

直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。

(3) 直径22cmの球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。

この立方体の形をした紙の箱の体積が何cm³かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

(正答の条件)

22×22×22と解答している。

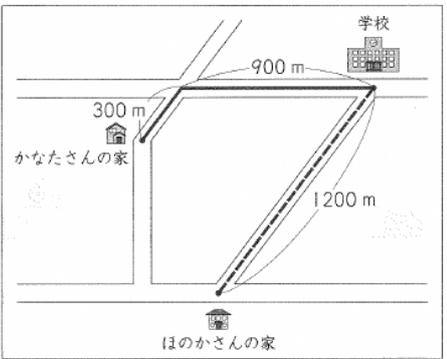
四街道市で多かった誤答例

- ・22×22と解答しているもの
- ・22×3と解答しているもの
- ・3.14を用いた式を解答しているもの

【大問4 (3)】

道のりが等しい場合の速さについて、どちらが速いかを選び、選んだ理由を言葉や数を使って書く。

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のり

かなたさんの家 300m 900m 学校 1200m ほのかさんの家

家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。
家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。
それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。
下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだだけを、言葉や数を使って書きましょう。

(正答の条件)

番号を1と選び、次のAまたはBの①、②の全てを書いている。

A①歩いた道のりが等しいこと

②かなたさんがかかった時間がほのかさんがかかった時間より短いこと

B①かなたさんの歩く速さを表す数や式、言葉

②ほのかさんの歩く速さを表す数や式、言葉

四街道市で多かった誤答例

- ・番号を1と選び、歩いた道のりが等しいことについてのみ書いているもの
- ・番号を2と選び、道が曲がっていることやまっすぐであることについて書いているもの

3 指導改善のポイント

- 立体図形について、図形を構成する要素に着目しながら、体積を求め方を考えたり、図形の性質を考察したりする場面を意図的に設けるようにする。
- 具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるように指導することが重要である。
- 理由等を記述する場面において、自身の考えの根拠となる要素を整理し、言葉だけでなく、数式や図、表などを使って説明できるようにすることが求められる。

令和6年度 全国学力・学習状況調査
中学校国語 指導改善のポイント

1 主な結果の概要

○目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。
ている。

○行書の特徴を理解している。

△文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。

△目的に応じて必要な情報に着目して要約する、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫する等、記述式の問題の正答率に課題がある。

2 課題のあった主な設問

【大問2一】

本文中の図に役割を説明したものとして適切なものを選択する。

- 一 「図さまざまな形の葉」の本文中での役割を説明したものとして適切なものを、次の1から4までの中から二つ選びなさい。
- 1 実際の葉の形をたくさん思い浮かべることができるように補助する役割。
 - 2 実際の葉の形とそれを表す言葉とを結び付けて捉えられるようにする役割。
 - 3 葉の形を表す言葉を二つのグループに分けるやり方が複数あることを示す役割。
 - 4 葉の形を表す言葉の中では厚み方向の形容が限定的であることの根拠を示す役割

四街道市の解答類型

○ 1、2	31%	× 上記以外	10%
× 1と2以外	29.4%	× 無回答	1.6%
× 2と1以外	27.9%		

【大問2四】

着目する内容を決めて要約する。

- 四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで（どちらを選んでもかまいません。）要約しなさい。
- ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて。
- イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とでは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

（正答の条件）

次の条件を満たして解答している。

- ①アとイのいずれか一つの＜着目する内容＞を選んで、その記号を塗り潰している。
- ②選んだ＜着目する内容＞について、必要な情報を適切に取り上げて書いている。
- ③選んだ＜着目する内容＞について、まとめて書いている。

（四街道市で多かった誤答例）

条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの

3 指導改善のポイント

- 説明的な文章を読むためには、要約する目的や必要に応じて、内容や分量、方法が異なるということを理解し、適切に要約することができるように指導する必要がある。目的に応じることや必要な情報に着目すること、敢えて間違っただモデルを提示し観点を示すことが効果的である。
- 説明的な文章において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈するためには、それぞれどの部分とどの部分が関連しているのかを丁寧に確認することが大切である。適した教材で、意図的に指導することが必要である。
- 意図的に文章を書く活動を多くする。
 - ・文章を適切に要約するために、「目的や必要に応じて内容、分量、方法が異なる」ということを理解する必要がある。
 - ・自分の考えがよく伝わる文章を書けるよう、伝えたいことを明確にし、効果を考えながら書くようにするとともに、グループで読み合ったり、推敲したりする時間を確保する。

1 主な結果の概要

- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができている。
- グラフの交点の意味を事象に即して解釈することができている。
- △目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。
- △考えた理由や問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。
- △問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすことに課題がある。

2 課題のあった主な設問

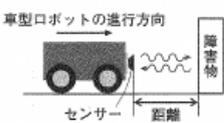
【大問7(2)】

車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの一から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する。

7 海斗さんと咲希さんは、安全性を高めるためにセンサーで障害物を感知して止まる自動車があることを知り、興味をもちました。そこで、車型ロボット用のプログラムによって走らせることのできる車型ロボットを使って実験をすることにしました。

車型ロボットの説明

- 障害物からの距離を測定できるセンサーがついている。



- プログラムの ①、② に値を入れることによって、車型ロボットの速さと、障害物からの距離を設定し、車型ロボットの動きを止めることができる。
- ① は、速さとして最も遅い段階1から最も速い段階5まで設定できる。
- ② は、距離として3cmから500cmまで設定できる。

プログラム

```

    段階①の速さで前に進む → 障害物からの距離が②cmより小さいことを感知する → 止まる
    
```

海斗さんは、まず、プログラムの ① に1を、② に10を入れて、次のように設定しました。

海斗さんが設定したプログラム

```

    段階1の速さで前に進む → 障害物からの距離が10cmより小さいことを感知する → 止まる
    
```

この設定で、海斗さんが車型ロボットを障害物に向けて走らせてみたところ、次の図1のように、設定した10cmの位置よりも進んで止まりました。

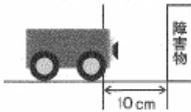


図1

そのようすを見て、海斗さんは、車型ロボットが10cmの位置からどれくらい進んで止まるか気になりました。そこで、次の図2のように、10cmの位置から進んだ距離を調べる実験を20回行い、その結果を下のよう小さい順に並べました。

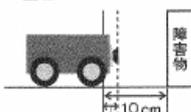


図2

10cmの位置から進んだ距離

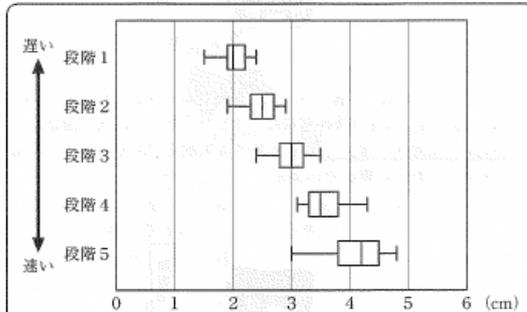
10cmの位置から進んだ距離について調べた結果

1.5	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0
2.0	2.0	2.1	2.1	2.2	2.2	2.2	2.2	2.4	2.4

(単位: cm)

(2) 咲希さんは、車型ロボットの速さを変えたときに、10 cm の位置から進んだ距離がどうなるか調べることにしました。そこで、速さを段階1から段階5まで変えて、10 cm の位置から進んだ距離をそれぞれ20回ずつ調べ、データを集めました。そして、データの分布の傾向を比較するために箱ひげ図に表しました。

10 cm の位置から進んだ距離の分布



	10 cm の位置から進んだ距離 (cm)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
段階1	1.5	1.9	2.0	2.2	2.4
段階2	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9
段階3	2.4	2.8	3.0	3.2	3.5
段階4	3.1	3.3	3.5	3.8	4.3
段階5	3.0	3.8	4.2	4.5	4.8

前ページの10 cm の位置から進んだ距離の分布から、「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、10 cm の位置から進んだ距離の分布の5つの箱ひげ図を比較して説明します。下の説明を完成しなさい。

説明

したがって、速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10 cm の位置から進んだ距離が長くなる傾向にある。

(正答の条件)

- 次の(a)、(b)について記述しているもの。
- (a) 箱ひげ図の箱がだんだんと右側にずれていっていること
- (b) 第1四分位数と第3四分位数がだんだんと大きくなっていること

四街道市で多かった誤答例

- ・ 図を誤って読み取っているもの
- ・ 全体ではなく、任意の2つの箱について比較しているもの
- ・ 無解答

3 指導改善のポイント

- 解決の過程や結果を振り返って、数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する場面を意図的に設定するようにする。
 - ※ 統合的に考察する・・・異なる事象の事柄をある観点から捉え、それらに共通点を見い出して一つのものとして捉え直すこと
 - ※ 発展的に考察する・・・考察の範囲を広げていくことで新しい知識や理解を得ようとする
- 目的に応じてデータを収集して分析し、その傾向を読み取って批判的に考察し判断することを通して、統計的に問題解決できるようにすることが大切である。
- 日常生活や社会の事象における問題の解決に関数を活用できるようにし、関数を活用する良さを実感できるようにすることが大切である。